

菅波 茂

23日にインド連邦、ビハール州ブッダガヤでAMDAピースクリニックの法律施行により世界遺産マハーボーディ寺院500以内の建築及び医療機関単独の設立も禁止となった。

ピースクリニックは世界遺産マハーボーディ寺院の500以内であり、日蓮宗太生山一心寺別院(中島妙江住職)付属診療機関として建てられた。医療と宗教が一体となつている建物は、戦争や災害の犠牲者の慰霊のために、2000年11月から始められたAMDA医療と魂のプログラム(ASMP)の象徴でもある。岡山からは中島妙江上人に加えて幸福寺の

藤田裕正上人らも参加された。AMDAからはインド支部関係者に加えてガヤ地区医師会長であるシンハー医師などが参加した。ちなみに、その後AMDAピースクリニックの法律施行により世界遺産マハーボーディ寺院500以内の建築及び医療機関単独の設立も禁止となった。

ビハール州はパトナを王都としたマウリア王朝の範疇にあった。第3世のアショカ王は第3回經典結集で有名である。願っている。

隣国ネパールのブドウ市とブッダガヤはパトナ經由で車で8時間以内の距離である。ブドウ市にはAMDAが設立運営する子ども病院がある。阪神大震災を契機として市民の募金をもとに98年に建てられ、現在109床の大病院として機能している。近くには釈迦の生誕の

AMDAピースクリニックinブッダガヤ開設1周年記念式



そのミャンマー国内ではAMDA社会開発機構や日本・ミャンマー医療人育成支援協会が活動している。ブッダガヤ、ブドワールそしてティンプーの3都市のご縁を「AMDA仏教医療ネットワーク」として発展させるのもいかがであろうか。

平均寿命世界一を誇る日本が果たせる役割は大きい。医療のみならず介護の分野でも世界が欲しいものがたくさんある。日本人にとって当たり前のことでも世界の人にとっては当たり前でないことが多い。「救える命があればどこまでも」のスローガンは紛争や災害時のみならず、平時の命の救いを求める声にも応えていければ幸いである。(AMDAグループ代表)